

No.80

ARK

秋田県立近代美術館ニュース・アーク
第80号

2020.
4-9



●美術館ボランティアによる野外彫刻清掃の様子 7/16



●仲町特任館長もコロナ対策で講演会です。特任館長講座 8/8



●ミュシャ展入場者1万人記念 8/21



●鑑賞もソーシャルディスタンスで。セカンドスクール・内小友小 7/15



●エレベーターに乗るときも距離を保って・・・



繊細な植物文様で飾られた優美な女性像は、アール・ヌーヴォーを象徴する表現です。
アルフォンス・ミュシャ《夢想 シャンブノア》1897年 OGATA コレクション

コロナにまけるな！
アートの夏。

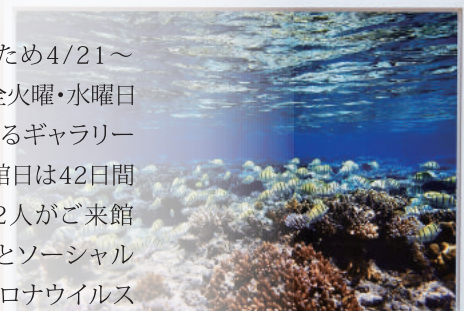
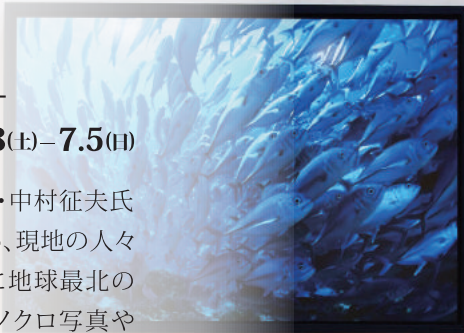
中村征夫写真展

軌跡一人・地球・出会いー

2020.4.18(土)～7.5(日)

本展覧会は水中写真家の第一人者・中村征夫氏が世界各地で捉えた海中写真をはじめ、現地の人々や珊瑚礁を望む南の島の風景、さらに地球最北の村「シオラパルク」の人々を写したモノクロ写真や1970年代の東京湾に潜って撮影した魚たちなど、281点を一同に公開しました。

新型コロナウイルス感染症対策のため4/21～5/20(31日間)と、それ以降の5・6月の全火曜・水曜日(11日間)が休館日となり、学芸員によるギャラリートークも中止となりました。期間中の休館日は42日間で実質38日間の展示でしたが、3,402人がご来館されました。お客様にはマスクの着用とソーシャルディスタンスをお願いするなど、新型コロナウイルスに対する新たな生活様式と共に開催された写真展をお楽しみいただきました。(担当:高橋・鈴木秀一)



中村征夫さんの代表作品をテーマごとに俯瞰できる展示内容でした。



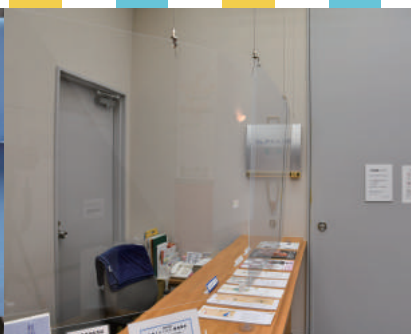
市松模様になべられた魚たちの「顔写真」



セカンドスクールもマスクを着用して・・・



開館時にはたくさんのお客様が



Report

新型コロナウイルス禍の美術館

令和2年に入り国内で確認された新型コロナウイルス感染者は、4月には秋田県内においても確認されました。緊急事態宣言が出されたことを受け、当館が建つ秋田ふるさと村においても、4/21～5/20の期間、当館を含む全館を休業とし、その後も6/30まで週2日を休業、開館時間も短縮して営業しました。

当館では、5月から9月までの期間に開催予定だった教室等を中止または延期とし、木の砂場やおもちゃ、絵本などを備えるキッズルームを閉鎖しましたが、これらを楽しみにされていた方々には大変申し訳ない思いでした。このことから来館者数は、4月は前年度に比べ約半分、休業が開けた6月には10%弱にまで落ち込みました。しかし、開催した「中村征夫写真展」や「ミュシャ展」、またコレクション展をご覧頂いた来館者の明るい表情は、主催者へのうれしい贈り物となったとともに、展覧会を開催することの意義を改めて教えてくれるものとなりました。(文:保泉)



Exhibition 特別展

ミュシャ展 アール・ヌーヴォーの華

2020.7.11(土)–9.13(日)

19世紀末のヨーロッパに起こった「アール・ヌーヴォー(新しい芸術)」の代表的作家アルフォンス・ミュシャの作品展を開催しました。展示室に入ると、本展のポスターにも採用した《夢想 シャンプノア》や、ミュシャの出世作として有名な作品《ジスモンダ》といった「商業ポスター」が来場者をお迎えしました。部屋を進むと、当時の庶民にも手の届く存在であった人気作「装飾パネル」や、ミュシャが画学生のために描いた教科書的存在である《装飾資料集》、さらに、ミュシャが手がけた「本の表紙や挿絵」、「商品パッケージ」、「アメリカ時代の作品」が登場します。最後は、「祖国チェコを題材にした作品」や、自身がスラヴ民族であることに誇りを持って描いた作品をご紹介します。

日本初公開や東北初公開の作品も多く、見応えのある内容であったと思います。会期はじめにはコレクターである尾形寿行氏のスペシャルトーク、8・9月にはABSアナウンサーと学芸員のトークセッションも開催しました。(担当:藤井・小林)



ミュシャの出世作《ジスモンダ》。右はアメリカツアーで使用したポスター。



東北初公開! 《黄昏》制作時に描かれたミュシャの原寸大直筆デッサン(右)です!



ABS竹本アナウンサーとのトークセッション 8/2



コレクター尾形寿行氏によるスペシャルトーク 7/11・12



会場の最後には「スラヴ叙事詩」の映像紹介も!



Exhibition コレクション展 I

ファッション・アワード2020

—「装い」の表現—

2020.4.11(土)–7.12(日)

コレクション展第1期では、「装い」にまつわる作品を合わせて81点を展示しました。その中の1点で小坂町出身の画家・福田豊四郎の《海濱》という作品についてご紹介します。

制作前年の1935年、豊四郎は瀬戸内海方面へ写生旅行に出かけました。これは鉄道省国際観光局主催の旅行で観光を促進するような絵を作家に描いてもらう目的で行われました。作中の男性がはかっている青の長半纏(はんでん)は万祝(まいわい)とよばれる漁師の祝い着で、江戸時代に広まったものです。縁起のよいものが色鮮やかに描かれることが多く、この万祝には「大漁」の文字が入った扇子、流水と松を意匠化した図案が描かれています。郷土秋田の風俗を題材にし続けた豊四郎は、この旅行でも人々の装いといった土地の風俗に関心を寄せたことでしょう。万祝を取り入れたことで、豊漁に沸き、活気に満ちたその土地らしさが漂う作品になったように思われます。(担当:小林)



福田豊四郎《海濱》1936(昭和11)年制作

展覧会変更のお知らせ

以下の展覧会は、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて**中止となりました**。楽しみにされていた皆様には誠に申し訳ございません。ご理解の程よろしくお願いたします。

- ❗ **秋田蘭画展** ～郷を越え、花開いた絵画～
(5階特別企画展) 9/19(土)～11/15(日)
- ❗ **出前美術展 峯田敏郎彫刻展** 記念撮影一空気と風土ー
(会場：能代エナジウムパーク) 7/7(火)～20(月)
- ❗ **出前美術館**
(会場：能代市立浄城南小学校) 11/7(土)～11(水)

代替展示のご案内

「コレクション展 **秋田蘭画ー“出会い”の絵画**」
(5階第1展示室にて開催) **2020.10.3(土)ー11.3(火)**

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、開催中止を決定した秋田蘭画展ですが、10月3日(土)より当館5階第1展示室にて、収蔵品のみで構成する特集展示を開催することとなりました。小さな展覧会ですが、当館で所蔵する、ほぼすべての秋田蘭画関連作品を展示します。この機会に是非ご覧ください。
(担当：鈴木京・保泉)



小田野直武《不忍池図》江戸時代中期、絹本着色 当館蔵

Information

※新型コロナウイルスの感染拡大により
延期・中止となる場合もございます。

2020年度・下半期の事業(予定)

特別展・企画展

- 大野源二郎写真展 10/16～2021.2/7
- ARTS & ROUTES - あわいをたどる旅 - 11/28～2021.3/7
- 響きあう個性
- 福田豊四郎とゆかりの日本画家たち - 2021.3/13～4/18

コレクション展

- 第3期 豊四郎の感覚を追え(仮) 2021.2/10～4/11

ふれんどりーギャラリー展示

- 「はんぼの会日本画展」 10/10～11/23
- 「野崎文隆デザイン展」 11/27～12/23
- 「わくわく美術展」 2021.1/6～1/12

館外展示など

- ネットワーク事業(会場：秋田県立図書館)
山岳の美・水辺の美 12/12～2021.1/26

美術館教室(中学生以上一般)

- 日本画教室「植物を描く3」(全2回) 11/14, 15
講師：山田美知男さん(画家 日本美術院院友)
- 「色鉛筆アートの世界」(全2回) 11/21, 22
講師：野崎文隆さん(ブランディングディレクター)

みんなの教室

- (小学生以上一般。小学校低学年の児童が参加する場合は要保護者同伴。)
- 楽しいな! 版画でカレンダー 12/6

特任館長講座

- 室町から桃山時代の美術と文化Ⅰ 風流と侘び
- 第6回 狩野派の登場 - 正信・元信 10/16
- 第7回 安土城と狩野永徳 11/7
- 第8回 千利休と長谷川等伯 12/12

19世紀末!!

ーミュシャの時代の作家たちー

2020.7.15(水)ー10.11(日)



左：ジョルジュ・クレラン《テオドラ》 サラ・ベルナル主演の演劇のポスター
右：山村耕花《お七吉三》右幅

アルフォンス・ミュシャに代表される「アール・ヌーヴォー」は、植物などの有機的なモチーフと曲線の組み合わせによる個性的で装飾性の高い造形が特徴で、当時流行した「ジャポニスム」、なかでも浮世絵の平坦な色彩構成、空間と図柄をくっきり分ける輪郭線は、大きな影響を与えたと言われます。

本展覧会では、ミュシャの活躍した19世紀末から20世紀初頭の作家たちの、アール・ヌーヴォーでもよく描かれる植物や女性を描いた作品や浮世絵にみられる美人画を思わせる作品、伝統的な日本画のほか、洋画やリトグラフ(版画の一種)など、様々な技法を用いて制作された作品をご紹介します。
(担当：鈴木秀一)

秋田県立近代美術館 Akita Museum of Modern Art

開館時間 9:30ー17:00(入館は16:30まで)
休館日 12.29～31, 2021.1.13～22(予定)
013-0064 秋田県横手市赤坂字富ヶ沢62-46(秋田ふるさと村内)
TEL: 0182-33-8855 FAX: 0182-33-8858
E-mail: akitamama@rnac.ne.jp

交通 お車で●秋田自動車道・横手インターより3分
バスで●横手バスターミナル(JR横手駅東口)
～ふるさと村15分

ホームページは「秋田県立近代美術館」で検索!
twitter、facebookも開設しています!

●発行編集・秋田県立近代美術館
●2020年9月30日発行